

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ハビー高槻教室		公表日		2025年10月1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		部屋の広さに合わせて集団の人数やペアでの使用、個別支援や面談での使用など使い分けている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		職員の人員配置は適切で、多様な職種が配属されている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		お子さまが分かりやすいよう、各部屋の名前に動物を起用。支援中に気が散ってしまわないように余計な物や掲示物を置かないようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎朝清掃を行い清潔にしている。玩具の消毒も行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		保護者様と指導員の会話が気になるお子さまに対して、可能な限り別室対応をしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		朝礼、昼礼、終礼、職員会議等にて教室の目標を共有し、進捗や改善点を話し合っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		評価の中から改善すべき点を抜粋し、職員間での意見交換を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎月職員会議を行い、職員それぞれの意見が言える場を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6	内部監査を通して教室外の職員に確認いただく機会を設けている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		専門職コミッティや様々な社内研修の受講、教室独自で勉強会を開いている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		5領域に基づく支援の方針を考え、支援に活かしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		保護者様のニーズを聞き取ったうえで、課題に対して現状どこまでできているかを他職員の意見を聞きながら分析し、支援計画作成に繋げている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		ケース会議の実施や日常的に職員間で利用児の様子を共有することで共通理解は図られているため、検討会議を通して様々な意見が反映されている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		特に伸ばしたい点や新しく見つかった課題点など、計画を作成した意図を詳細に伝えている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		統一された書式を用いて実施している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		個別支援計画作成時のお子さまの姿を踏まえて、それぞれの支援内容を考えている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		経過に伴う成長を加味した活動プログラムについて話し合い、立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		前回の記録等を読み、固定化しないようにしている。毎年新しい教材を購入し支援の幅が広がるように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		今年度から区分2の集団枠を設けている。また、集団ニーズのある子どもをペアリングして集団を実施している。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼内でその日に担当する利用者の支援目標や業務内容を共有し、負担が偏らないように配分している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		終礼時に、その日見られた利用者の姿を共有し、成長した点や頑張っていたこと、改善した方がよいことなどを話し合っている。	時短勤務者へも共有が行き渡るよう、ケース記録に残していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		気付いたことは必ず共有事項やケース記録に残し、他職員が次の支援で生かしやすいようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		保護者様の意見や希望に沿って行っている。個別支援計画交付の中間時期に面談を実施している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		担当職員や児童発達支援責任者が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		関係機関連携にて保育園、幼稚園、就学先の小学校との情報共有や会議を実施している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		園や他事業所と情報を共有し、同じ目的や目標を持って支援することに繋がっている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		保護者様の希望により就学支援シートを作成し、就学先の学校に共有している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	2	センター主催の研修や勉強会に参加している。社内の各専門職に助言を頂ける機会があり助言を頂いている。	職員自らが、社内の各専門職に助言を求めたりより自己研鑽に励める環境にしている。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	必要に応じて検討していく。	今後そういった機会を設けられるように働きかけていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		支援後のフィードバックや保護者様の希望により家族支援の時間を設けている。	家族支援をより周知するために掲示用の告知を作成する。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		動画支援や家族支援、保護者会等を通じて行っている。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		主に契約時に実施している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		中間評価時期に面談を実施したり、随時保護者の希望を受けて家族支援を実施している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		個別支援計画交付の際には読み合わせを行い、支援方針を明確に説明を行った上で同意していただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		支援の中では見られない相談（トイトレ、食育等）にも応じ、難しい内容については持ち帰り後日お伝えしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		保護者会は年に数回実施している。	兄弟児の交流は実施していないため、今後検討していく。
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		お申し出を受けて対応可能な日程をできるだけ早く設定し、十分な時間を設けて対応している。		
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		コノベル連絡アプリやポスターを提示することにより周知している。また支援時に職員から保護者様に直接お伝えしている。		

非常時等の対応	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報取り扱いについての研修を受けている。業務中、席を離れる際はPCを閉じることを意識している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		お子さまに対して、伝わりやすい内容での情報伝達を意識している。傾聴や共感、言葉選びに留意しながら行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	現在は実施していない。	今後、地域発信を目的とした言語聴覚士の講演会を予定している。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		廊下に掲示している。訓練実施時は事前の告知と支援に内容を取り入れるなどの工夫を行った。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		避難場所を玄関扉に掲示している。避難訓練を実施し、設定日に来所されない利用者様に対しては予定していることや概要の説明をしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		見学シートに記入頂いたり、契約時に確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	食事提供を行っていないため、医師指示書は共有頂いていない。食品を扱う際は、アレルギーの有無について保護者に確認を取り、除去が必要な利用者は個別に対応している。	今後食事提供をする場合は、指示書について確認を行っている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		規定に沿っている。利用者様が閲覧できる本棚に格納している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		契約時やポスターなどで全体周知を行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		朝礼や昼礼で起きた原因や今後の対策について共有している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		毎年全職員が研修を受講している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		契約時にお伝えしている。		